

〔Tetrahedron Lett., 1978, 4539〕

**A Facile Functionalization of the Isopropylidene Terminus of Isoprenoids.
Application to the Synthesis of Terminal Trans Allylic Alcohols**

YUKIO MASAKI, KINJI HASHIMOTO, KENJI KAJI

イソプレノイド類のイソプロピリデン末端位の容易な官能基化，末端トランスアリールアルコール類の合成への応用

正木幸雄，橋本謹治，鍛冶健司

構造式(I)で示される末端位が官能基化されたオレフィン類は，分子内に三置換二重結合を持つ種々のテルペノイド類の位置及び立体特異的な合成にとって重要な中間体である。

我々は下図に示すように，容易に入手しうるイソプレノイド類(III)を利用し，その末端位イソプロピリデン部位二重結合にベンゼンスルフェニルクロライドを付加させ，付加体(V)を定量的に得て，次いで直接ジメチルホルムアミド中，又はトリエチルアミンとジメチルホルムアミド混液中で60°で20時間加温するか，あるいは，付加体(V)をシリカゲルカラムを通し，得られるヒドロキシスルフィド(VI)を酸触媒で脱水する事により収率良く末端アリールスルフィド類(II)を合成した。更に(II)よりスルホキシドを経由し，トリメチルホスファイトを室温で作用させ，収率良く末端トランスアリールアルコール類(IV)を合成した。

